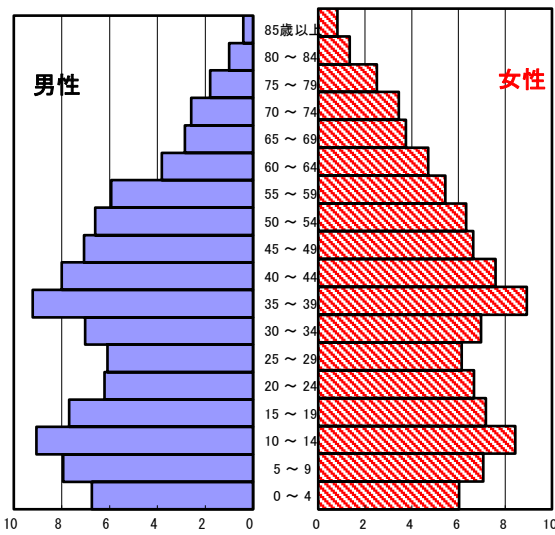


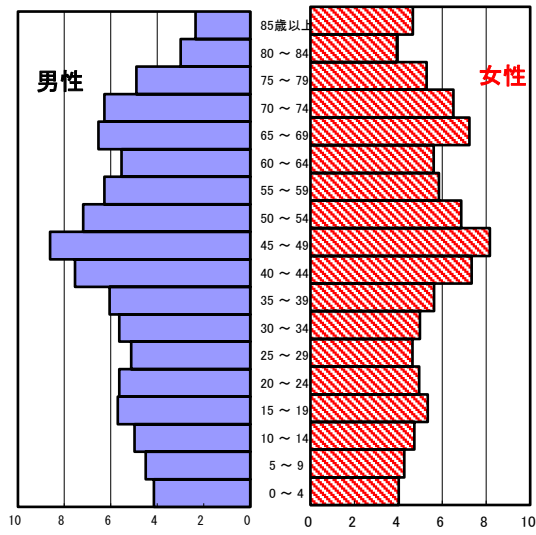
鈴鹿市の現状

1 人口の状況

人口ピラミッド比較
昭和60年(1985年)



平成30年(2018年)



人口静態(平成30年10月1日現在) 単位:人

	計	男性	女性
人口数	196,257	97,516	98,741
65歳以上人口	48,162	21,650	26,512
(構成比 %)	24.5 [29.0]	22.2 [26.0]	26.9 [32.0]
世帯数	80,477	[737,760]	
一世帯人数	2.44	[2.43]	

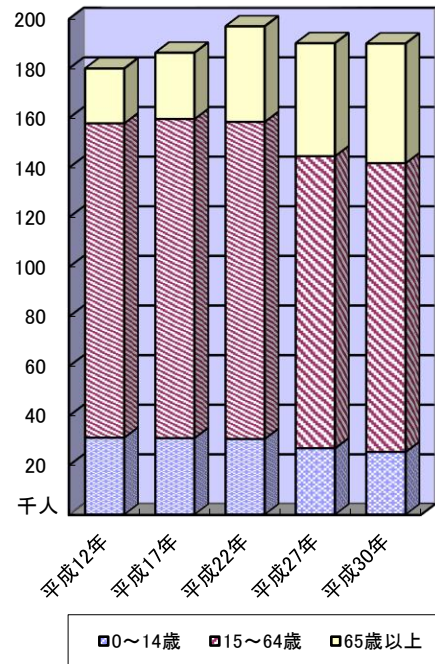
[]内は三重県

人口動態(平成30年)確定数 単位:人

	計	男性	女性
出生数	1,482	761	721
死亡数	1,857	987	870
出生率(人口千対)	7.55	[7.03]	
死亡率(人口千対)	9.46	[11.67]	

[]内は三重県

3区分別人口の推移



3区分別人口の推移 単位:人

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成30年 (2018年)
0~14歳	30,852	30,510	26,758	25,284
15~64歳	128,591	127,780	117,737	116,403
65歳以上	26,707	38,500	45,500	48,162

2 母子保健の状況

人口動態(平成30年)確定数

単位:人

	出生数		乳児死亡数(再掲)		死産数	周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数
	低体重児	新生児	新生児	新生児				
鈴鹿市	1,482	132	2	1	32	5	928	344
[率]	[7.6]	[8.9]	[1.3]	[0.7]	[21.1]	[3.4]	[4.7]	[1.8]
三重県	12,582	1,133	21	9	251	36	7,446	2,929
[率]	[7.0]	[9.0]	[1.7]	[0.7]	[19.6]	[2.9]	[4.2]	[1.6]

出生率(人口千対)、低体重児(出生百対)、乳児死亡・新生児(出生千対)

死産(出産千対)、周産期死亡(出生千対)、婚姻・離婚(人口千対)

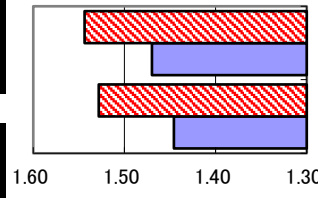
合計特殊出生率

	平成7～11年	平成26～30年
鈴鹿市	1.53	1.54
三重県	1.45	1.47

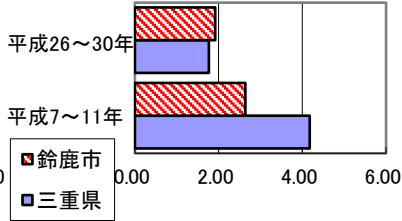
乳児死亡率(出生千対)

鈴鹿市	2.64	1.92
三重県	4.17	1.77

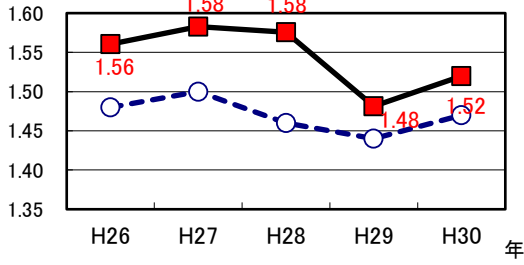
合計特殊出生率の推移



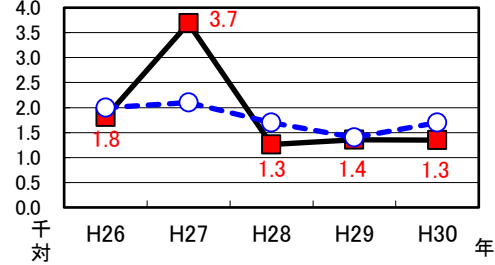
乳児死亡率の推移



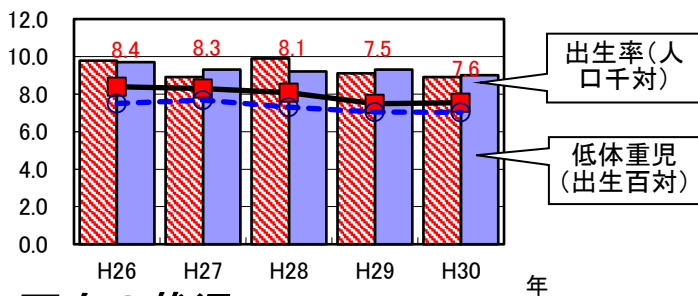
合計特殊出生率の推移



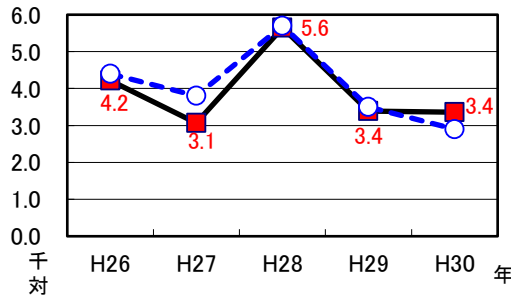
乳児死亡率の推移



出生率・低体重児出生率の推移



周産期死亡率の推移
(出産千対)



3 死亡の状況

年齢調整死亡率 人口10万対

死因	男性	女性
悪性新生物	148.5 [151.8]	79.8 [79.0]
心疾患	60.3 [65.3]	34.4 [34.4]
脳血管疾患	34.9 [34.7]	24.0 [21.0]
交通事故	4.7 [6.3]	2.4 [1.9]
肝疾患	5.9 [7.4]	3.1 [3.1]
糖尿病	7.0 [5.6]	4.1 [2.4]
高血圧	2.5 [1.7]	1.5 [1.4]

40歳～64歳における生活習慣病死亡率

	計	男性	女性
鈴鹿市	156.9	197.9	115.5
三重県	170.5	217.5	123.7

直近5年間の累計

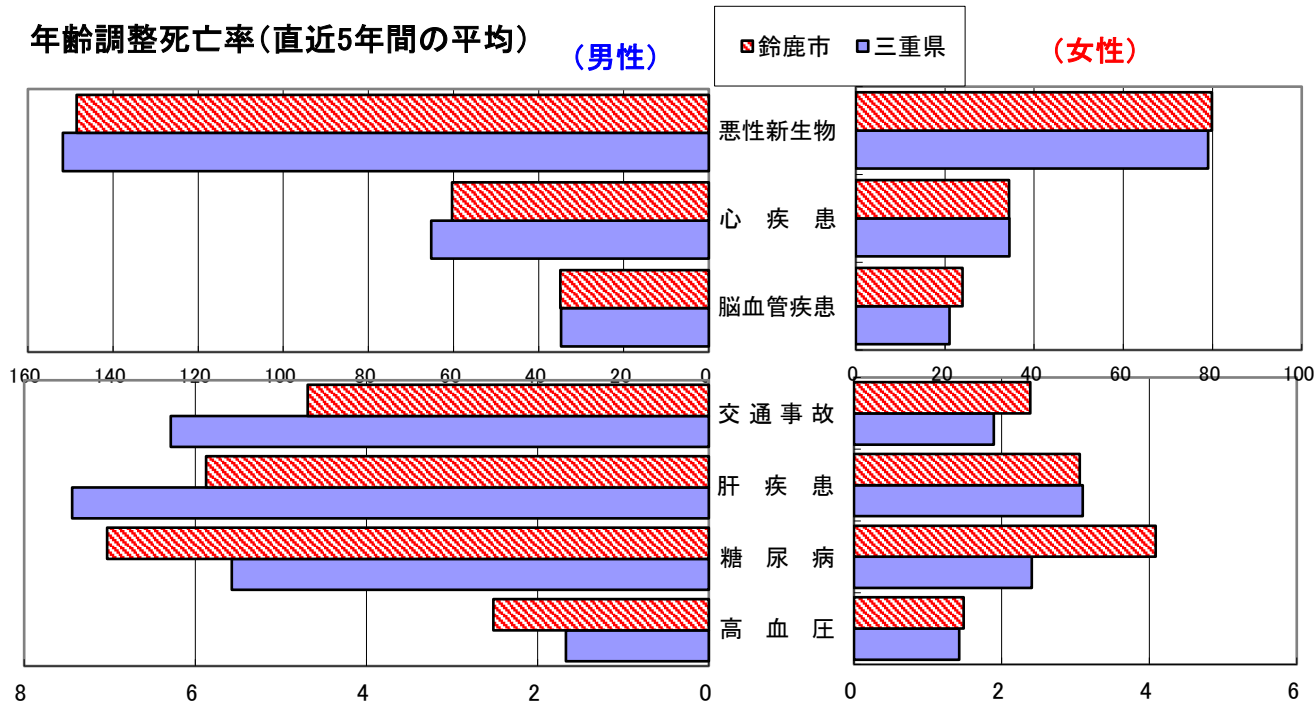
自殺者数

	計	男性	女性
鈴鹿市	152	121	31
人口10万対	15.5	24.8	6.3
三重県	1,512	1,063	449
人口10万対	16.7	24.2	9.7

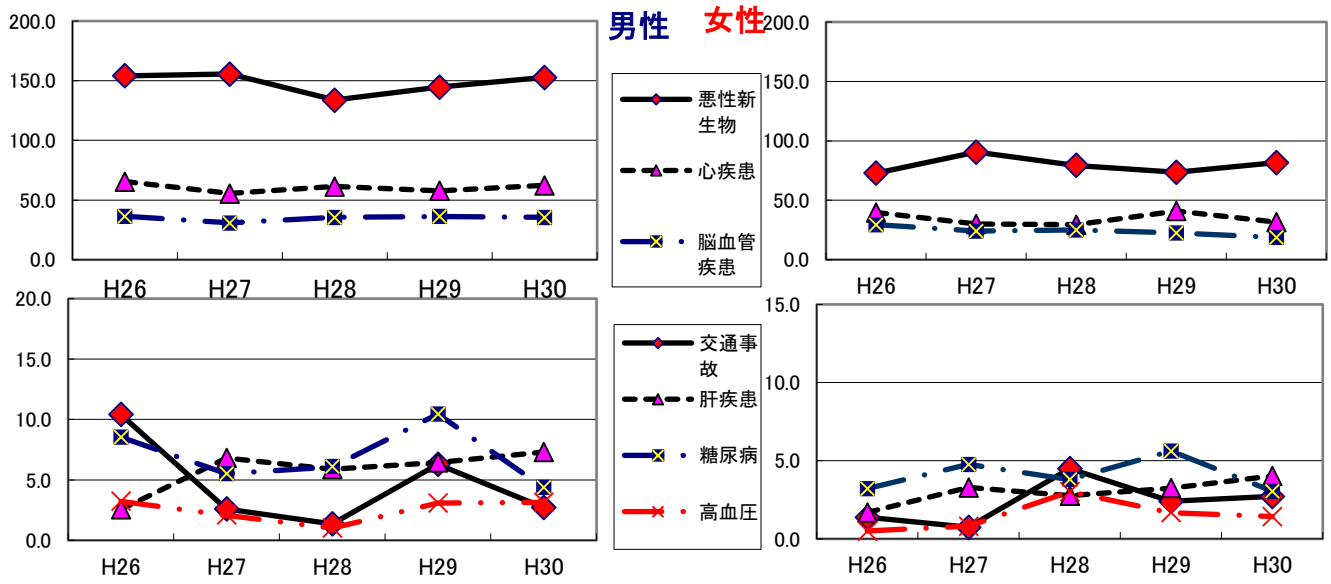
直近5年間の累計

直近5年間の平均 (年齢調整は昭和60年モデル人口を使用)
[]内は三重県

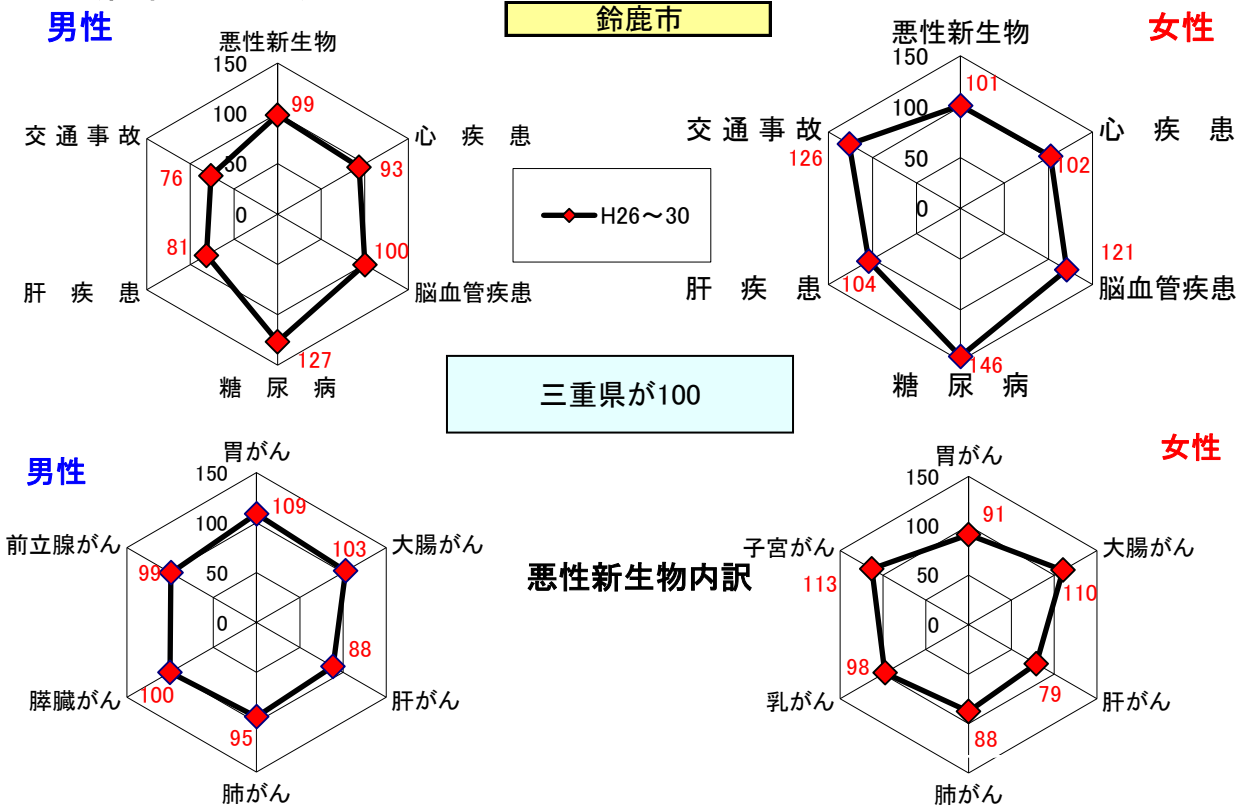
年齢調整死亡率(直近5年間の平均)



年齢調整死亡率の年次推移



SMR(標準化死亡比)



出展: みえDataBox「人口・世帯の動き」(対象年10月1日現在)
 厚生労働省「人口動態調査交付データ」
 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(対象年1月1日)

注: SMRに使用した人口及び死亡数は当該年を含む5年間の合計

$$\text{一世帯人数} = \frac{\text{みえDataBox「人口・世帯の動き」の人口}}{\text{総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」の世帯数}}$$